

# 1 2023年度の取組状況等

## 第1章 「文・武・芸」三道の鼎立を目指す教育の実現

直近の主な取組	今後の取組の方向
<p>1 「知性」・「感性」を磨く学びの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校への専科指導教員の配置の拡充と高学年の教科担任制の推進のため、小学校高学年に加配教員を34名配置し、専門的な教科指導を実現。教員の持ちコマ数軽減など学校の働き方改革も推進。【義務教育課】</li> <li>・高等学校における協働的・探究的な学びの充実に向け、指定校での地域の企業、大学等の外部機関と連携した探究活動を実施。【高校教育課】</li> <li>・探究的な学びの充実に向け、「探究シンポジウム」を開催。オンラインプラットフォーム「探Qラボ Shizuoka」を開設。</li> <li>・高校への指導主事定期訪問時、11校で「授業改善のためのICT活用」をテーマに校内研修を実施。希望研修でもICT活用に関する内容の講義・演習を実施。特別支援学校向けのICT活用に関する新規希望研修も立ち上げ。【教育政策課、教育DX推進課】</li> <li>・BYODによる端末整備を進めつつ貸出用端末の活用も含めたICT環境の整備を推進。【教育DX推進課】</li> <li>・県立学校からの照会対応や技術支援のため、「GIGAスクール運営支援センター」を設置しヘルプデスクを開設。授業改善や校内での研修等を行うICT支援員の派遣も実施。【教育DX推進課】</li> <li>・保育者の多様な働き方に対応するため会場参集又はオンライン・オンデマンドでのハイブリッドによる研修会を実施。【義務教育課】</li> <li>・外国にルーツをもつ幼児や発達障害等特別な配慮を必要とする幼児に対して、5歳児対象の保育プログラムを開発。保育ソーシャルワーカー等の人材を活用したインクルーシブ教育保育研究を沼津市のモデル園で実施。【義務教育課】</li> <li>・読書推進会議において、委員による静岡県子ども読書推進計画の随時評価に加え、文科表彰、教育長表彰等学校及び団体に対する顕彰活動を審査。【社会教育課】</li> <li>・子ども読書アドバイザーの知識や技術の向上、アドバイザー同士の交流による連携の基盤づくりを目的にフォローアップ研修を開催。【社会教育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の加配を利用し小学校高学年の理数教科を中心に専科指導の充実を図る。</li> <li>・指定校での取組を各学校へ周知し、全県で協働的・探究的な学びの充実を図る。</li> <li>・オンラインプラットフォームを活用して高校におけるノウハウや情報の共有等を図り、探究的な学びを推進。</li> <li>・ICT活用の研究を進め、新たな参考資料を作成。</li> <li>・ICT環境を活用した授業に向け、研修を充実。</li> <li>・ヘルプデスクやICT支援員の派遣による技術支援を通じて、学校現場でのICT活用を促す。</li> <li>・園のニーズに合わせた動画コンテンツを作成。</li> <li>・保育プログラムの試案をモデル園とパイロット園において試行し更に改善。</li> <li>・読書活動推進会議を通して評価や意見を得ながら、バリアフリー法等の内容を踏まえた「誰一人取り残さない」読書推進計画を検討・策定。</li> <li>・養成講座とフォローアップ研修は交代して実施しており、次年度は養成講座によりアドバイザーの養成・認定を実施。</li> </ul>

直近の主な取組	今後の取組の方向
2 「技芸を磨く実学」の奨励	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「キャリア・パスポート」を活用し、児童生徒が1年間の目標設定をし、学習や行事の振り返りを行うことで、自分の頑張りや良さを実感できるように指導。【義務教育課、高校教育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「キャリア・パスポート」の活用により児童生徒一人ひとりのキャリア形成と自己実現を支援。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中・高校の児童生徒に静岡県技能マイスターから仕事の魅力や職業観を直接学ぶ機会を提供。12月末時点で56校3,459人が参加。【職業能力開発課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技能マイスターの新規認定による事業の基盤強化、学校への周知による活用の促進。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京2020大会やリオ2016大会で活躍したパラリンピアンを障害者スポーツ応援隊として学校や行事等に派遣。今年度設立されたふじのくにパラスポーツ推進コンソーシアムに参画し、障害者スポーツの環境整備、パラアスリートの発掘・育成・支援、理解促進や裾野拡大を実施。【スポーツ振興課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者スポーツ応援隊の派遣事業を実施。コンソーシアムへ参画し、パラスポーツの振興を推進。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動部活動に対して、中学校・高等学校の県内トップにある運動部活動への強化支援を行うことで、ジュニアのトップ選手を育成。【健康体育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動部活動強化支援事業にて、高体連、高野連、中体連への支援によりジュニア世代を強化。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクリングの県モデルルートの候補ルートであった「東京2020オリンピック・パラリンピックコース」について、既存の山梨県モデルルートに本県区間を加えることについて国に了承され、新たな県モデルルートとして設定。【スポーツ政策課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・残りの候補の「塩の道ルート」「富士山静岡空港周遊ルート」についても県モデルルートへの設定を目指す。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養教諭等の研修会において食育ガイドラインや指導案事例集を活用した研修を実施。【健康体育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修等の機会を活用し、食育ガイドラインの活用を推進。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒や保護者を対象とした静岡茶講座や、栄養教諭等食育担当者へのお茶に関する研修会を開催。【健康体育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校でお茶を飲む機会や静岡茶の食育の機会の提供を促進。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育の実技指導を行う「学校体育実技指導協力者」として県スポーツ協会や、本県に本拠地をおくプロ・実業団チームスタッフ等を、希望する学校に対して派遣。【健康体育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校のニーズに応じた指導者派遣のため指導者を拡充。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校における部活動の段階的な地域連携並びに地域クラブ活動への移行に関して、有識者、関係団体、市町教育委員会担当者等を含めた協議会を設置して検討。【健康体育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な部活動と教員の負担軽減の両立に向け対応。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・SPACは富山県や東京都での国内出張公演や、フランスでの海外公演も成功させ、舞台芸術の魅力の発信に寄与。【文化政策課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「演劇の都」構想に基づくSPACを核とした施策を展開し、県民の舞台芸術鑑賞機会を創出。人材育成、県民交流、観光活用につなげる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・東アジア文化都市2023静岡県のコア事業の一つとして、第9回静岡国際オペラコンクールを開催。プレイベントや、中学生・高校生オペラ鑑賞事業などを開催。【文化政策課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機運醸成を目的としたオペラ県民講座や中学生・高校生オペラ鑑賞教室を実施。国内外に向け情報を発信。</li> </ul>

直近の主な取組	今後の取組の方向
<ul style="list-style-type: none"> <li>「ふじのくに文化教育プログラム」冊子を作成し、県内の学校の各学年に1部ずつ配布。【文化政策課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HP や冊子を活用した体験・鑑賞機会の有効利用についての呼びかけを実施。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域資源の活用や社会課題に対応した住民主体の創造的な取組(アートプロジェクト)に対して助成と、専門家による支援、地域とクリエイティブ人材を繋ぐ事業を「アーツカウンシルしずおか」が実施。【文化政策課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「アーツカウンシルしずおか」により地域課題の把握や担い手の発掘を行い、住民主体のアートプロジェクトを支援。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の関係者とのワークショップを行い、地域ならではの食や食文化を体験できる「ガストロノミーツーリズム」の旅行商品の造成や、ファムトリップを実施。また、食文化と温泉文化の発信と振興を図る「ふじのくに食と温泉文化フォーラム」を開催。【観光政策課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>料理人、生産者、事業者等を構成員とした「ガストロノミーツーリズムフォーラム」により産学官連携体制を構築し、地域の食文化を活かした観光サービスの創出や情報発信を実施。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>ふじのくに食の都づくり仕事人や食文化等の浸透に貢献する企業・団体の表彰を実施。県内調理専門学校生を対象とする食の都の授業や大学生対象の講座を開催。【マーケティング課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報発信や県産食材を学ぶ機会の創出により、ガストロノミーツーリズムに携わる人材を育成。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>富士山世界遺産登録10周年の国際記念シンポジウムを開催。併せて、10周年記念企画展、富士山の噴火と崩壊を題材とした企画展などを開催。12月末時点で11.2万人の来館、学校団体35件(3,109人)、一般団体43件(1,471人)が出前講座受講。【富士山世界遺産課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年常設展示の一部更新と企画展の開催。県外観光商談会への参加、県内各施設・学校への広報を継続して実施。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>伊豆の国市と共同で、富士山・韮山反射炉の世界遺産PRイベントを県内商業施設で実施。富士山・韮山反射炉に関する県民講座を対面とオンラインで実施。前年度に比べ1.73%増の6,951人が受講。【富士山世界遺産課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>伊豆の国市と連携した世界遺産PRイベントや県民講座の開催、動画のオンライン配信による効果的な情報の発信。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>市町への働きかけや助言により伊豆の国市、富士市、焼津市、袋井市の「保存活用地域計画」を文化庁が認定。本県認定件数は合計6件。文化財個別の「保存活用計画」は2件が作成。【文化財課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「保存活用地域計画」については、作成中の市町に対する助言を継続、未着手の市町に対する研修会の開催や個別協議による早期着手の促進。「保存活用計画」も市町や文化財所有者への働きかけ・助言を継続。</li> </ul>
<h3>3 学びを支える魅力ある学校づくりの推進</h3>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>魅力ある高等学校づくりを推進するため、探究活動を中心とするオンリーワン・ハイスクール事業を実施。計33校でイノベーション・ハイスクール(文系・理系をバランスよく学ぶリベラルアーツの推進及び探究活動支援のカリキュラム検討)等の研究を実施。【高校教育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年間の研究成果の他校への共有により社会情勢の変化や生徒の多様な能力、適性、興味、関心等に応じた学びを実現できる魅力ある高校づくりを引き続き推進。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>本県教育を取り巻く課題や状況変化を踏まえた「静岡県立高等学校の在り方検討委員会」での協議を経て、高校の在り方に関する基本方針を策定。【高校教育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本方針をさらに具体化した基本計画の策定。地域協議会で地区ごとの議論を実施。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>私立学校経常費助成を通じて、私立学校の自主性・独自性を活かした特色ある教育内容の充実を支援。【私学振興課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>私立学校における特色ある教育活動を支援。</li> </ul>

直近の主な取組	今後の取組の方向
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の社会的な視野の拡大と対人関係能力の向上を目的とした「民間企業等長期派遣型研修」や「中堅教諭等資質向上研修」における民間企業等での「社会体験研修」を実施。【教育政策課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「民間企業等長期派遣型研修」の派遣者数拡大による、教職員の社会的視野の拡大と対人関係能力の向上。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革に関して、学校規模別グループによる取組状況の報告及び情報交換を行ったほか、研修会等での取組内容の共有及び成果の発信。【義務教育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校に「業務改善「夢」コーディネーター」を位置付け、オンラインプラットフォームを介して学校間で課題や効果が高い手法を共有。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の総勤務時間の縮減を目的としたスクールサポートスタッフ(SSS)を全校に原則週 20 時間配置。【義務教育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校配置の継続による教員の働き方改革のより一層の加速。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「静岡県学校施設中長期整備計画」に基づく建替え又は耐震補強設計への着手。3校4棟では建替え工事が完了。【教育施設課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「静岡県学校施設中長期整備計画」に基づいた施設の老朽化対策を推進。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎建替え等にあわせた断熱性能の高い窓や外壁、LED照明等の整備による省エネルギー効果の高い施設の整備。【教育施設課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建替え工事や計画保全に併せた整備を実施。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路管理者や学校関係者・交通管理者と連携した通学路における合同点検を県内各地で実施。点検結果に基づいた横断歩道の新設等を実施。【道路整備課、健康体育課、交通規制課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携した点検の実施と必要とされた交通安全対策を推進。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「静岡県立特別支援学校施設整備基本計画」後期計画に基づき、中東遠・浜松地区新特別支援学校の整備に向けて設計等に着手。【教育施設課、特別支援教育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画に基づく着実な施設整備による狭隘化解消と通学負担の軽減。</li> </ul>

## 第2章 未来を切り拓く多様な人材を育む教育の実現

直近の主な取組	今後の取組の方向
<p>1 多様性を尊重する教育の実現</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>人権啓発センター主催の講演会等を1月までに7回実施。企業、学校等が実施する研修への人権啓発指導員の派遣を行い、11月末までに59回 延べ7,600人余りが受講。【地域福祉課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講演会等の開催や企業、学校等が実施する研修へ人権啓発指導員を派遣。各種人権相談への対応等により人権施策を推進。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>性的指向や性自認にかかわらず、誰もが暮らしやすい社会を実現するため、ホームページによる情報発信や県内公共図書館での啓発パネルの巡回展示を実施したほか、電話相談を月2回、交流会を5回実施。また、2023年3月に、県全域を対象とした「静岡県パートナーシップ宣誓制度」を開始。【男女共同参画課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>静岡県パートナーシップ宣誓制度の周知や性の多様性への理解促進のための啓発、研修を実施。また、宣誓者の生活上の困りごとの解消につなげるため、宣誓者が受けられるサービスの拡充等に取り組む。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>「多様性を認め合う学級づくり実践研修」を新たに実施するとともに、人権教育指導者研修会、人権教育担当者会等、年次別研修や管理職研修において男女共同参画や性の多様性に関する情報を提供。【教育政策課、義務教育課、高校教育課、特別支援教育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種研修会を活用して、教職員の男女共同参画や性の多様性への理解を促進。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>高等学校の「スクールカウンセラー」は、増員して35人を配置し、「スクールソーシャルワーカー」も増員して11人を配置。いじめ、不登校等の解消や、貧困、ヤングケアラーなど様々な支援が必要な生徒の対応を実施。【高校教育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個に応じた相談に対応するよう、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置を拡充。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>スクールカウンセラー等を配置する私立学校を支援し、相談体制を充実。【私学振興課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不登校、いじめ、進路等の児童生徒に係る多様な問題の解決を図る。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校における出張講義の実施や普及啓発素材の作成により、ヤングケアラーに対する認知度を向上。また、ヤングケアラーへの支援について、アドバイザーを配置し、個別事例や支援体制構築について市町等へ助言。支援者向けのヘルプデスクを設置し相談対応を実施。【こども家庭課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、出張講義等によりヤングケアラーに対する認知度向上のための取組を推進。個別事案の支援方法等について市町に対する助言等を実施。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>公民の連携により不登校児童生徒に対する支援の一層の充実を図るため、フリースクール等民間施設と教育委員会、教育支援センターで構成する協議会を設置。【義務教育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民の連携を強化しながら、ICTを活用した学びや社会とつながる場づくりに取り組む等、不登校児童生徒の多様なニーズに応えられる支援体制の充実を図る。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの居場所の立上げ支援や運営のアドバイスを行うコーディネーターの配置、ふるさと納税や寄附金を活用した居場所の運営費に対する助成金などによる支援体制の強化とともに、子どもの居場所づくりに対する機運の醸成等を実施。【こども家庭課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な運営ノウハウを提供し、多様な居場所づくりの立上げを支援。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>社会的ひきこもり傾向にある子ども・若者を支援するため青少年交流スペース「アンダンテ」を活用した相談・交流を実施。【社会教育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会的ひきこもり傾向にある子ども・若者やその家族を支援するため、青少年交流スペース「アンダンテ」を運営。</li> </ul>

直近の主な取組	今後の取組の方向
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常学級在籍の特別な支援を必要とする児童生徒の支援のために、週 20 時間勤務の支援員を 85 人配置。また、特別支援学級の知的障害及び自閉・情緒障害の多人数学級に週 20 時間の非常勤講師を 75 人配置。【義務教育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育の充実に資する人材配置の維持・拡充について検討。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各特別支援学校のコーディネーターが中心となり幼稚園や小学校に出向き教育相談や就学相談等を実施。また、就学前の幼児を対象とした体験・相談会開催等による早期からの教育相談も実施。【特別支援教育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校のセンター的機能の活用により、小・中・高校教員の特別支援教育に対する教員の理解を促進し、児童生徒個々の教育的ニーズに対応した適正な就学につなげる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「外国人児童生徒相談員」、「外国人児童生徒スーパーバイザー」、「日本語指導コーディネーター」を静東地区 8 名、静西地区 11 名任用し、外国人児童生徒の適応指導、指導担当者等への助言、市町教育委員会担当者への支援を実施。【義務教育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校や市町に、コーディネーターの役割を周知し、外国人児童生徒の適応指導、指導担当者などへの助言、市町教育委員会担当者への支援を実施。</li> </ul>
<h2>2 グローバル・グローバル人材の育成</h2>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本県独自の産学官連携による奨学金制度「ふじのくに留学応援奨学金」や、各国大使館等と連携して行う「海外留学応援フェア」の開催等を通し、海外留学希望の学生を支援。【大学課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふじのくに留学応援奨学金」や「海外留学応援フェア」等により留学しやすい環境を整備し、県内大学生の留学意欲を醸成。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふじのくに地域・大学コンソーシアムが主体となり、国際交流ツアー等、留学生と日本人学生の交流の場を創出。県内留学等に関する窓口である留学生デジタルプラットフォームを活用し、留学生獲得から滞在・就職までを支援。【大学課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふじのくに地域・大学コンソーシアムへの支援を通じ、留学生の受入れから就職まで一体的に支援。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生の国際交流や異文化体験の推進のため、コロナ禍で中断していたモンゴル国・ドルノゴビ県との相互訪問や留学支援を本格的に再開。【教育政策課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モンゴル国・ドルノゴビ県との高校生相互訪問を継続するとともに、新たに探究を伴う留学を支援する等、海外での学びを推進。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際バカロレア教育の県立高校への導入を目指し、2024 年度に開校予定である「ふじのくに国際高校」を導入校とすることについて 2023 年 5 月に国際バカロレア機構から認定。【高校教育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2026 年度の導入を目指し、教員養成等の準備を実施。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内中学生を対象とした「未来を切り拓く Dream 授業」を 8 月に開催し、抽選で選ばれた 30 名が、講義やグループディスカッションに参加。また、過去参加者等 6 名がコースリーダーとして参加。【総合教育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生がより興味をもつ講師やプログラムを検討し、開催を継続。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・5 名の県内高校生が 7 月下旬から 8 月上旬にかけて開催された日本の次世代リーダー養成塾に参加。【総合教育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報活動の充実等により、応募者の増加を目指す。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動を牽引するリーダー等養成講座であるコミュニティカレッジを 1 回、遠隔地住民の受講を考慮した出張コミュニティカレッジを 2 回開催。コミュニティカレッジの累計修了者数は 1,259 人。【地域振興課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティカレッジや出張コミュニティカレッジの開催により地域活動を牽引するリーダー等を養成。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立工業高等学校 2 校に特別教諭を配置。所属校における教育活動だけでなく、中学校を含む他校への出張授業等により幅広い教育を推進。文部科学省指定「マイスター・ハイスクール事業」を浜松城北工業高校で実施し、地域産業を担う人材を育成。【高校教育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最新の知識と技術を習得できる環境を構築。</li> </ul>

直近の主な取組	今後の取組の方向
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県立農林環境専門職大学で実習・演習を重視した実践的教育を実施。【農業ビジネス課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実習・演習を重視した実践的な教育により高度な技術や知識を持つ人材を養成。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域で防災活動に従事する方や行政職員などを対象に、「ふじのくに防災士養成講座」を開講。オンライン配信も活用し、受講定員を引き上げ。【危機情報課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認定された「ふじのくに防災士」へのフォローアップ講座を実施。今後もより多くの地域を担う人材を育成。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2023年2月にデジタル地震防災センターを開設。来館が困難な方にも館内展示の見学や防災学習の機会を提供。【危機情報課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出張展示や防災講話と併せて、県民の防災意識を向上。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学1年生及び高校1年生に「自転車セーフティ＆マナー」副読本を配布。【くらし交通安全課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学・高校の新1年生に「自転車セーフティ＆マナー」副読本を配布し交通安全教育を推進。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境学習のコンテンツをまとめたポータルサイト「ふじのくに環境ラボ」を開設、小学生とその保護者を対象にした環境学習会の開催、大学の環境サークルと連携したイベント開催等により、環境保全活動を考える契機を提供。また、静岡大学と連携し、高校生が脱炭素に向けた企画の立案や実践活動を実施。【環境政策課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ふじのくに環境ラボ」の普及、環境学習会や環境学習イベントの開催、静岡大学との連携事業の推進等により、若者世代が環境保全等に対する意識等を高める機会を創出。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地球温暖化対策アプリ「クルポ」を2023年2月にリニューアルして機能を充実させ、県民一人ひとりが地球温暖化防止のための活動（脱炭素アクション）を楽しみながら実践することを促進。【環境政策課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ さらなる利用の増加を目指し、脱炭素アクションの充実や、市町等と連携した広報の強化を実施。</li> </ul>
<h3>3 高等教育の充実</h3>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ふじのくに地域・大学コンソーシアムと連携し、地域、企業及び教育機関と連携して行う地域活動や教育活動を支援。【大学課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若者の県内定着促進のため、産学官の連携により、学生の地域企業への理解を深めるキャリア教育を更に推進。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ふじのくに地域・大学コンソーシアムが行う短期集中単位互換授業、ゼミ学生等地域貢献推進事業、小中高大連携事業等を支援。【大学課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ふじのくに地域・大学コンソーシアムへの支援を通し、本県の教育・研究機能を強化。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オンライン併用によるリカレント教育プログラムを開講。ふじのくに地域・大学コンソーシアムが行うオンデマンド配信併用による短期集中単位互換授業の取組を支援。【大学課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ふじのくに地域・大学コンソーシアムにおけるデジタル技術を活用した取組を支援。</li> </ul>
<h3>4 生涯を通じた学びの機会の充実</h3>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各市町の公民館や生涯学習施設等を活用した講座・学級の開催数は6,066回であり、昨年度より1,800回以上増加。【社会教育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修等を通じ、講座企画の支援を行い、開催を促進。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 静岡県生涯学習情報発信システム「まなぼっと」に関する情報を35市町の広報紙へ掲載依頼。情報提供団体との意見交換会をオンライン開催。【社会教育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報活動の充実と情報提供者との意見交換を実施。</li> </ul>

直近の主な取組	今後の取組の方向
<ul style="list-style-type: none"> <li>市町社会教育職員や県内の社会教育主事有資格者等に対して、障害者の生涯学習に関わる情報を積極的に周知。 【社会教育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報提供の継続、新たな情報提供先の検討。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人県民が生活に必要な日本語能力を習得する体制を構築するための対話交流型の地域日本語教室等を実施。 【多文化共生課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2025年度までに19市町で実施を目指す。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>2023年4月開校の県立ふじのくに中学校（夜間中学）で多様な背景を持つ生徒が「学ぶ喜び」を実感できるような学習指導や、教科学習につながる日本語指導を推進。 【義務教育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の習熟度に応じた支援体制の充実のためのよりよい教育課程を検討。</li> </ul>



### 第3章 社会総がかりで取り組む教育の実現

直近の主な取組	今後の取組の方向
1 社会とともにある開かれた教育行政の推進	
<ul style="list-style-type: none"> <li>総合教育会議及び地域自立のための「人づくり・学校づくり」実践委員会を各年4回開催。実践委員会の意見を踏まえて、知事と教育委員会が総合教育会議において、教育施策等について協議。また、才徳兼備の人づくり小委員会においては、困難を抱える子どもを支える環境づくりや、人口減少社会を見据えた高等学校教育の在り方について検討し、実践委員会へ報告予定。【総合教育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合教育会議及び実践委員会を各年4回開催し、社会全体のニーズを反映した教育行政を推進。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>知事部局と教育委員会において、県内の経済団体と教育施策に関する意見交換会を実施。【総合教育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な機会に県内経済団体と情報共有を図る。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>市町の課題等の聴取及び学校支援充実のため、教育事務所長・副所長による市町教育委員会事務局との協議等を3回実施。【義務教育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協議（訪問等）を継続し、市町教育委員会と連携を深める。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>市町教育委員会教育長会を開催。県の施策や教育方針の伝達や意見交換等により、県教育委員会と市町教育委員会が連携。【教育総務課、教育政策課、義務教育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開催を継続し、連携を強化。2023年度中には「県・政令市教育委員会意見交換会」を開催予定。</li> </ul>
2 地域ぐるみの教育の推進	
<ul style="list-style-type: none"> <li>「コミュニティ・スクール連絡協議会」、「コミュニティ・スクール推進協議会」を実施。出前講座で各市町の要望に合わせた支援を実施。【義務教育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティ・スクール導入に向けての支援の継続。導入済み市町に対する支援も実施。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>高等学校でのコミュニティ・スクール導入校が13校追加され33校に増加。【高校教育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全校実施に向け、各高等学校の実態に適した学校運営協議会の運営、取組事例について研修等で情報共有。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援学校は全校が学校運営協議会を設置。地域と一体となった特色ある学校づくりを推進。副校長教頭会で学校運営協議会をテーマにした研修を実施。【特別支援教育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各校の取組を情報発信。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民や大学生等による学習支援や体験活動を通じて交流等を行う「しずおか寺子屋」を14市町で実施。【社会教育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施市町・箇所の拡大を図る。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>大学のゼミ等による探究学習支援、企業による出前授業、SDGs達成に資する取組における企業との協働の推進(SDGsスクールアワード)等、大学や企業等との連携により児童生徒の主体的な学びを支援する体制を整備し実践。【教育政策課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度に整備した体制を活用、拡大しながら学びの充実を図る。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>県内の幼稚園等で行う「人づくり地域懇談会」に「人づくり推進員」を派遣し、人づくり等に関する助言等を実施。人づくり推進員の資質向上等のため「人づくり推進員全体研修会」、「家庭教育支援フォローアップ研修会」を開催。【総合教育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人づくり地域懇談会の開催を促すとともに、人づくり推進員の資質向上やネットワークの強化に取り組む。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>「静岡県学校警察地域連絡協議会（学警連）」に関して事務担当者連絡会を開催し、関係機関で情報共有。各地区の学警連等への協議内容等の情報提供により児童生徒の非行及び被害防止を推進。【社会教育課】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同連絡会と地区の学警連等との情報共有等、関連機関との連携を図る。</li> </ul>